

ゴールドマン・サックス 米国REITファンド

愛称：コロブスの卵

Cコース（年1回決算型、為替ヘッジあり）

Dコース（年1回決算型、為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／不動産投信

Cコース	第9期末(2022年10月24日)		第9期	
	基準価額	10,131円	騰落率	-26.94%
	純資産総額	151百万円	分配金合計	0円
Dコース	第9期末(2022年10月24日)		第9期	
	基準価額	17,430円	騰落率	-2.75%
	純資産総額	800百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	原則として無期限
運用方針	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	米国REITマザーファンドの受益証券
米国REITマザーファンド	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②実質外貨建資産については、Cコースでは、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とし、Dコースでは、原則として為替ヘッジを行いません。 ③本ファンド及びマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。
分配方針	原則として毎計算期末(毎年10月23日。休業日の場合は翌営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

第9期(決算日2022年10月24日)

作成対象期間:2021年10月26日～2022年10月24日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ゴールドマン・サックス 米国REITファンド Cコース/Dコース」は、このたび、第9期の決算を行いました。本ファンドは、米国のリートを主要投資対象として、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先: 03-6437-6000(代表)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

ゴールドマン・サックス 米国REITファンドCコース（年1回決算型、為替ヘッジあり）
（以下、「Cコース（為替ヘッジあり）」といいます。）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 引 前 分 配 金	期 中 騰 落 率	参 考 指 標	期 中 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
5期(2018年10月23日)	11,202	0	△3.4	13,499	△3.3	97.6	179
6期(2019年10月23日)	13,310	0	18.8	16,571	22.8	96.3	282
7期(2020年10月23日)	9,925	0	△25.4	13,560	△18.2	96.3	261
8期(2021年10月25日)	13,867	0	39.7	19,495	43.8	96.8	236
9期(2022年10月24日)	10,131	0	△26.9	14,829	△23.9	95.4	151

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指標(MSCI米国REITインデックス(円ヘッジ・ベース))は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 標	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率
(期 首) 2021年10月25日	13,867	—	19,495	—	96.8
10月末	14,039	1.2	19,762	1.4	97.5
11月末	14,044	1.3	19,797	1.5	97.7
12月末	14,924	7.6	21,055	8.0	97.0
2022年1月末	13,662	△1.5	19,401	△0.5	98.9
2月末	13,650	△1.6	19,312	△0.9	97.7
3月末	14,591	5.2	20,517	5.2	99.7
4月末	14,368	3.6	20,335	4.3	97.5
5月末	12,971	△6.5	18,290	△6.2	96.5
6月末	11,938	△13.9	16,841	△13.6	98.8
7月末	12,814	△7.6	18,141	△6.9	95.5
8月末	12,102	△12.7	17,224	△11.6	100.0
9月末	10,347	△25.4	14,809	△24.0	96.5
(期 末) 2022年10月24日	10,131	△26.9	14,829	△23.9	95.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標(MSCI米国REITインデックス(円ヘッジ・ベース))は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

ゴールドマン・サックス 米国REITファンドDコース（年1回決算型、為替ヘッジなし）
（以下、「Dコース（為替ヘッジなし）」といいます。）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 引 前 分 配 金	期 中 騰 落 率	参 考 指 標	期 中 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
5期 (2018年10月23日)	13,865	0	△ 2.4	16,154	△ 2.4	96.9	435
6期 (2019年10月23日)	16,295	0	17.5	19,547	21.0	96.7	623
7期 (2020年10月23日)	11,809	0	△27.5	15,541	△20.5	97.1	543
8期 (2021年10月25日)	17,922	0	51.8	24,417	57.1	98.4	848
9期 (2022年10月24日)	17,430	0	△ 2.7	24,588	0.7	96.5	800

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 標	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率
(期 首) 2021年10月25日	17,922	—	24,417	—	98.4
10月末	18,137	1.2	24,746	1.3	97.7
11月末	18,154	1.3	24,821	1.7	97.7
12月末	19,514	8.9	26,685	9.3	95.1
2022年 1月末	17,939	0.1	24,684	1.1	99.7
2月末	17,937	0.1	24,498	0.3	97.3
3月末	20,277	13.1	27,684	13.4	97.8
4月末	20,941	16.8	28,895	18.3	95.3
5月末	18,878	5.3	25,875	6.0	97.6
6月末	18,570	3.6	25,434	4.2	97.3
7月末	19,735	10.1	27,029	10.7	98.2
8月末	19,256	7.4	26,473	8.4	98.5
9月末	17,251	△ 3.7	23,828	△ 2.4	98.3
(期 末) 2022年10月24日	17,430	△ 2.7	24,588	0.7	96.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

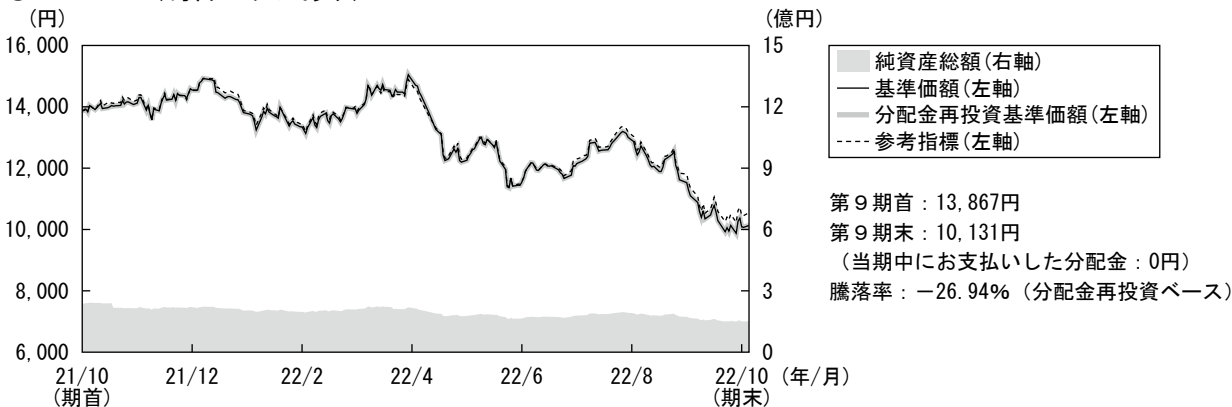
(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

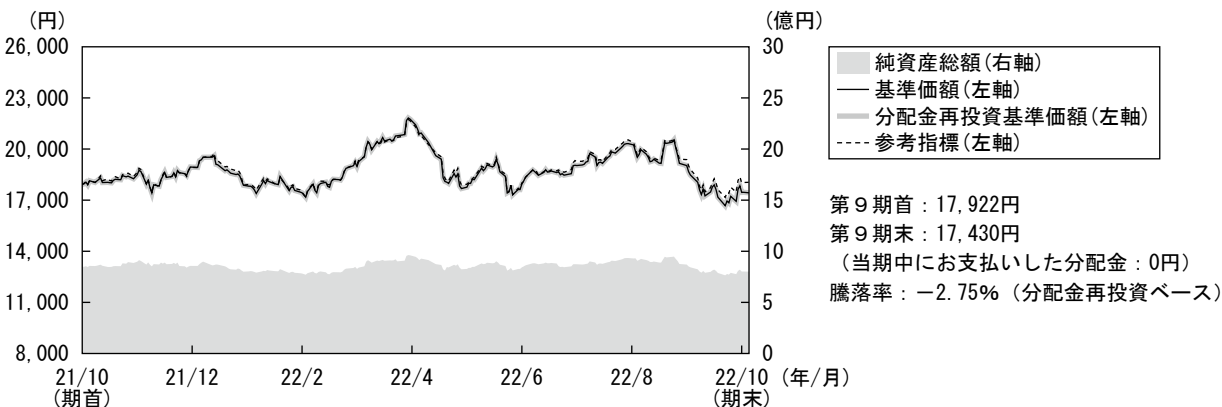
■運用経過

◆基準価額等の推移について（2021年10月26日～2022年10月24日）

○Cコース（為替ヘッジあり）



○Dコース（為替ヘッジなし）



（注1）参考指標は、Cコース（為替ヘッジあり）はMSCI米国REITインデックス（円ヘッジ・ベース）、Dコース（為替ヘッジなし）はMSCI米国REITインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

◆基準価額の主な変動要因

- Cコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の13,867円から3,736円下落し、期末には10,131円となりました。
 - Dコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の17,922円から492円下落し、期末には17,430円となりました。
- （以下、2ファンドを総称して本ファンドといたします。）

上昇要因

コアサイト・リアルティやVICIプロパティーズが保有期間中に上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。Dコース（為替ヘッジなし）においては、米ドルが対円で上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国リート市場（米ドルベース）が下落したことや、エクイニクスやプロロジスが保有期間中に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

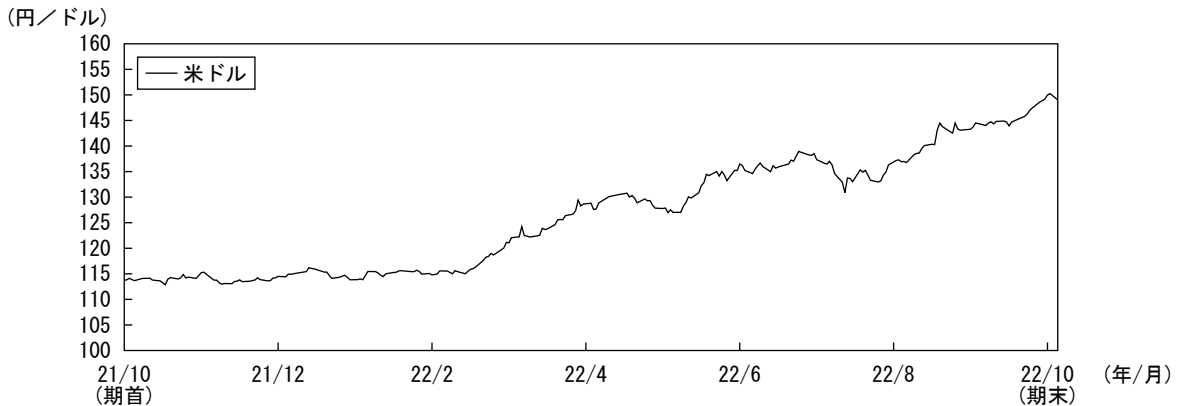
◆投資環境について

＜米国リート市場＞

米国リート市場は下落しました。期の前半は、新型コロナウイルスのオミクロン株の発生と感染拡大が警戒されたものの、新薬が承認されたことや重症化率が相対的に低いと伝わったことから市場心理が回復し、米国リート市場は上昇基調で推移しました。期中盤は、FRB（米連邦準備制度理事会）のインフレ対策を急ぐ方針やタカ派化観測から金利上昇が進展したほか、ロシアによるウクライナ侵攻が地政学リスクの高まりとして意識され、バリュエーションが高くなっていた成長株は大幅な調整を余儀なくされたものの、米国リートは金融引き締めや景気減速懸念など不安材料が散見されるなかでも、契約に基づきキャッシュフローを生み出せる安定的な収益構造が評価されて、株式市場対比では底堅い動きとなりました。しかし、期の後半は、景気減速を示唆するマクロ経済指標を受けて長期金利が低下したことや、想定より堅調な企業の四半期決算を背景に一時上昇する局面もありましたが、物価関連指標や雇用統計を受けてFRBが一層タカ派的な姿勢を強めたなか、米国リート市場は前期末から下落した水準で期を終えました。

＜外国為替市場＞

外国為替市場では米ドルに対して円安が進みました。



出所：一般社団法人投資信託協会

◆ポートフォリオについて

＜本ファンド＞

本ファンドは米国REITマザーファンドを概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。また、Cコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

＜本マザーファンド＞

当期中の主なポジションとしては、社会生活の変化を追い風に構造的な成長が展望できるビジネスモデルを有するセクターをオーバーウェイトとした一方で、対照的に事業環境の激化が見込まれるセクターをアンダーウェイトとしました。

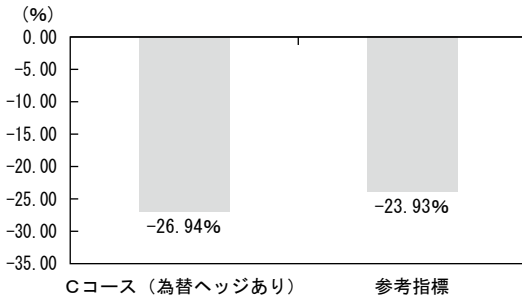
当期においてコアサイト・リアルティやVICIプロパティーズが保有期間中に上昇したことなどがプラス寄与となりました。一方、エクイニクスやプロロジスが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

◆ベンチマークとの差異について

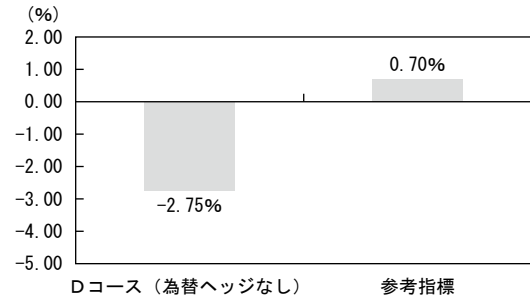
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

＜当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）＞

○Cコース（為替ヘッジあり）



○Dコース（為替ヘッジなし）



（注）各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のCコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-26.94%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-23.93%となりました。Dコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-2.75%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+0.70%となりました。

◆分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期は、Cコース（為替ヘッジあり）およびDコース（為替ヘッジなし）の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

引き続き本マザーファンド受益証券を概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、Cコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざします。

＜本マザーファンド＞

米国リート市場において、当社では需給や資金調達環境などを注視しています。2021年は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展に伴う経済活動再開や不動産需要の回復期待により、米国リート市場は株式市場全体と同様に力強く上昇しました。一方、2022年は年初からインフレや金融政策、サプライチェーンの混乱といった昨年から続く懸念要因に加えて、地政学リスクや景気減速懸念などの新たな不安材料が浮上するなど、不透明な市場環境が続いています。米国を筆頭に各地域の金融政策はインフレの鎮静化を優先させる方針がうかがえることから、市場は更なる景気減速を織り込む可能性があり、不動産需給の観点では新型コロナウイルスの感染拡大からの回復局面でみた幅広いセクターでの需要回復ではなく、不動産の立地やテナントのファンダメンタルズの違いによって選別色が強まる可能性があるとのみ、従来以上にクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。

当社では、中長期的に、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネス・モデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資します。

（上記見通しは2022年10月24日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

■本ファンドのデータ

◆本ファンドの組入資産の内容 (2022年10月24日現在)

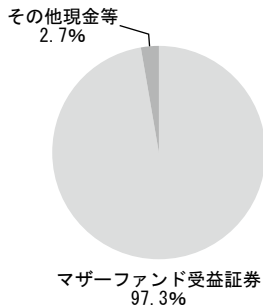
<Cコース (為替ヘッジあり)>

○組入れファンド

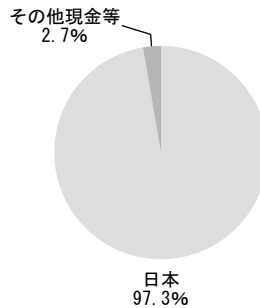
(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	比率
米国REITマザーファンド	97.3%

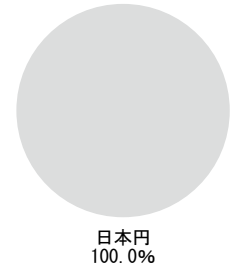
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 上記の比率は全てCコース (為替ヘッジあり) の純資産総額に対する割合です。

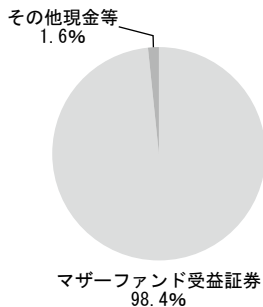
<Dコース (為替ヘッジなし)>

○組入れファンド

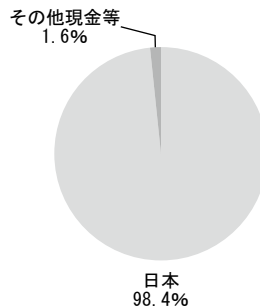
(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	比率
米国REITマザーファンド	98.4%

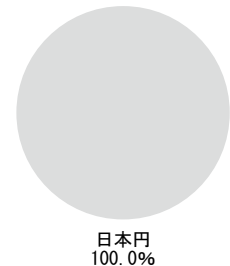
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 上記の比率は全てDコース (為替ヘッジなし) の純資産総額に対する割合です。

◆組入上位ファンドの概要

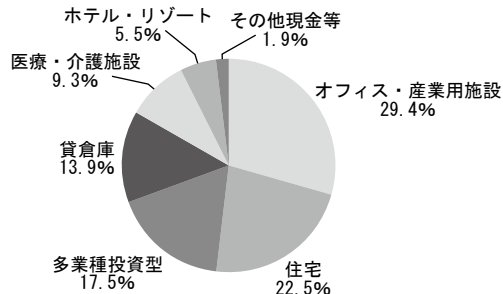
米国REITマザーファンド（2022年10月24日現在）

○組入上位10銘柄

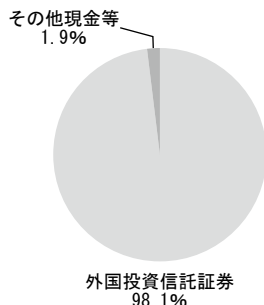
（組入銘柄数：30銘柄）

	銘柄	国	業種	比率
1	プロロジス	アメリカ	オフィス・産業用施設	9.5%
2	パブリック・ストレージ	アメリカ	貸倉庫	9.3%
3	エクイニクス	アメリカ	多業種投資型	7.7%
4	デジタル・リアルティ・トラスト	アメリカ	多業種投資型	5.4%
5	イーストグループ・プロパティーズ	アメリカ	オフィス・産業用施設	5.3%
6	テレーノ・リアルティ	アメリカ	オフィス・産業用施設	5.0%
7	アパロンベイ・コミュニティーズ	アメリカ	住宅	5.0%
8	ウェルタワー	アメリカ	医療・介護施設	4.5%
9	インビテーション・ホームズ	アメリカ	住宅	4.4%
10	アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	アメリカ	オフィス・産業用施設	4.2%

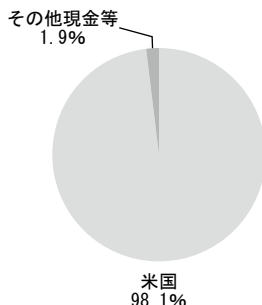
○業種別配分



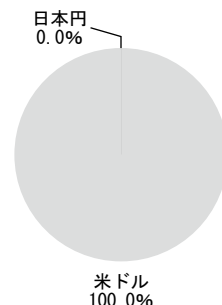
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）組入上位10銘柄、業種別配分、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは組入れファンドの直近の決算日時点のもの
です。

（注2）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

Cコース（為替ヘッジあり）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021年10月26日～2022年10月24日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	208円 (109)	1.569% (0.823)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(87)	(0.658)	
(受託会社)	(12)	(0.088)	
売買委託手数料 (投資信託証券)	8 (8)	0.057 (0.057)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	7 (0) (6) (0)	0.054 (0.002) (0.049) (0.003)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	223	1.681	

期中の平均基準価額は13,287円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

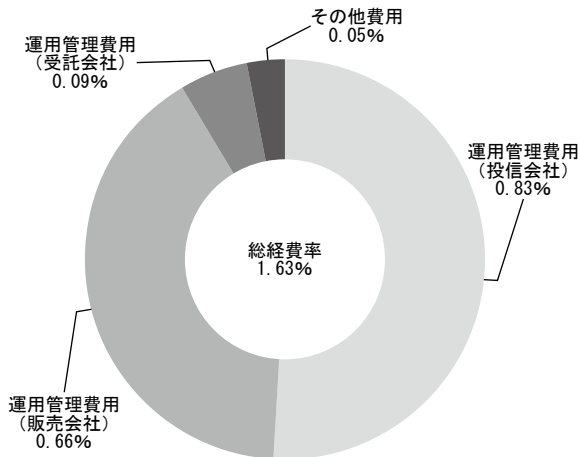
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2021年10月26日から2022年10月24日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 3,483	千円 12,081	千口 28,198	千円 100,759

■利害関係人との取引状況等（2021年10月26日から2022年10月24日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2022年10月24日現在）

親投資信託残高

種 類	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 69,423	千口 44,708	千円 147,228

■投資信託財産の構成

2022年10月24日現在

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 147,228	% 93.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	11,056	7.0
投 資 信 託 財 産 総 額	158,284	100.0

(注1) 米国REITマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（74,741,260千円）の投資信託財産総額（76,589,347千円）に対する比率は97.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=149.03円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2022年10月24日
(A) 資 産	305,156,930円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	11,019,820
米国REITマザーファンド(評価額)	147,228,850
未 収 入 金	146,908,260
(B) 負 債	153,819,360
未 払 金	152,384,346
未 払 解 約 金	2,844
未 払 信 託 報 酬	1,388,125
未 払 利 息	29
そ の 他 未 払 費 用	44,016
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	151,337,570
元 本	149,377,107
次 期 繰 越 損 益 金	1,960,463
(D) 受 益 権 総 口 数	149,377,107口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	10,131円

■損益の状況

項 目	当 期	
	自 至	2021年10月26日 2022年10月24日
(A) 配 当 等 収 益	△	3,632円
受 取 利 息		24
支 払 利 息	△	3,656
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益		△50,202,673
売 買 益		12,116,223
売 買 損		△62,318,896
(C) 信 託 報 酬 等		△ 3,170,443
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)		△53,376,748
(E) 前 期 繰 越 損 益 金		25,261,777
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金		30,075,434
(配 当 等 相 当 額)	(35,748,879)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△	5,673,445)
(G) 計 (D + E + F)		1,960,463
(H) 収 益 分 配 金		0
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)		1,960,463
追 加 信 託 差 損 益 金		30,075,434
(配 当 等 相 当 額)	(35,863,469)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△	5,788,035)
分 配 準 備 積 立 金		28,066,570
繰 越 損 益 金		△56,181,541

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

(注5) 期首元本額は170,560,487円、当作成期間中において、追加設定元本額は32,618,401円、同解約元本額は53,801,781円です。

Dコース（為替ヘッジなし）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021年10月26日～2022年10月24日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	296円 (155)	1.569% (0.823)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(124)	(0.658)	
(受託会社)	(17)	(0.088)	
売買委託手数料 (投資信託証券)	11 (11)	0.059 (0.059)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用)	10 (0)	0.051 (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(5)	(0.025)	
(その他)	(4)	(0.024)	
合計	317	1.680	

期中の平均基準価額は18,882円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

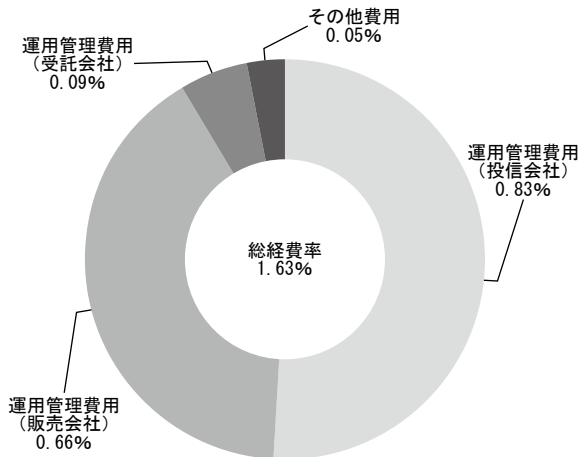
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2021年10月26日から2022年10月24日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 52,468	千円 186,617	千口 66,231	千円 233,283

■利害関係人との取引状況等（2021年10月26日から2022年10月24日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2022年10月24日現在）

親投資信託残高

種 類	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 252,952	千口 239,189	千円 787,675

■投資信託財産の構成

2022年10月24日現在

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 787,675	% 97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	20,258	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	807,933	100.0

(注1) 米国REITマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（74,741,260千円）の投資信託財産総額（76,589,347千円）に対する比率は97.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=149.03円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2022年10月24日
(A) 資 産	807,933,161円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	20,257,320
米国REITマザーファンド(評価額)	787,675,841
(B) 負 債	7,107,196
未 払 解 約 金	89,638
未 払 信 託 報 酬	6,801,620
未 払 利 息	54
そ の 他 未 払 費 用	215,884
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	800,825,965
元 本	459,459,782
次 期 繰 越 損 益 金	341,366,183
(D) 受 益 権 総 口 数	459,459,782口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	17,430円

■損益の状況

項 目	当 期	
	自 至	2021年10月26日 2022年10月24日
(A) 配 当 等 収 益	△	11,106円
受 取 利 息		95
支 払 利 息	△	11,201
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△	27,520,304
売 買 益		12,682,347
売 買 損	△	40,202,651
(C) 信 託 報 酬 等	△	13,900,997
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△	41,432,407
(E) 前 期 繰 越 損 益 金		96,008,108
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金		286,790,482
(配 当 等 相 当 額)	(223,219,440)
(売 買 損 益 相 当 額)	(63,571,042)
(G) 計 (D + E + F)		341,366,183
(H) 収 益 分 配 金		0
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)		341,366,183
追 加 信 託 差 損 益 金		286,790,482
(配 当 等 相 当 額)	(224,145,693)
(売 買 損 益 相 当 額)	(62,644,789)
分 配 準 備 積 立 金		108,153,268
繰 越 損 益 金	△	53,577,567

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

(注5) 期首元本額は473,352,107円、当作成期間中において、追加設定元本額は218,704,858円、同解約元本額は232,597,183円です。

■分配原資の内訳

Cコース（年1回決算型、為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 9 期
	2021年10月26日～2022年10月24日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,279

Dコース（年1回決算型、為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 9 期
	2021年10月26日～2022年10月24日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,429

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

米国REITマザーファンド

親投資信託

第38期(決算日2022年10月24日)

作成対象期間: 2022年4月26日~2022年10月24日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。法令・諸規則に基づき、親投資信託(マザーファンド)の期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)
組入制限	①投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先: 03-6437-6000(代表)
受付時間: 営業日の午前9時~午後5時 | www.gsam.co.jp

■最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額	期 騰 落 中 率	参 考 指 標	期 騰 落 中 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
		%		%		
34期 (2020年10月23日)	円 21,487	% 7.6	36,392	% 10.0	% 98.6	百万円 84,353
35期 (2021年4月23日)	27,404	27.5	47,198	29.7	98.6	93,950
36期 (2021年10月25日)	33,322	21.6	57,176	21.1	99.0	96,935
37期 (2022年4月25日)	40,231	20.7	67,944	18.8	99.0	101,031
38期 (2022年10月24日)	32,931	△18.1	57,577	△15.3	98.1	74,741

(注) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2003年10月27日を10,000として指数化しております。

■当期中の基準価額と市況推移

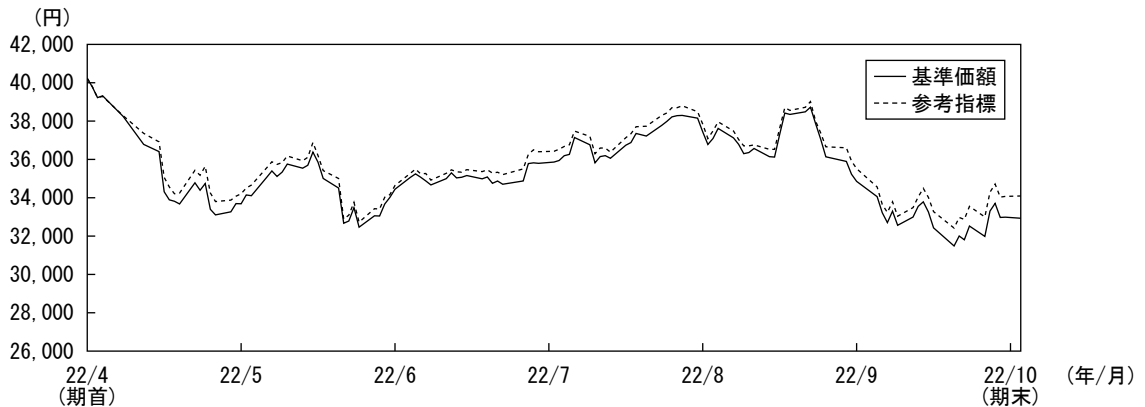
年 月 日	基準価額	騰 落 率	参 考 指 標	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率
		%		%	
(期 首) 2022年4月25日	円 40,231	% —	67,944	% —	% 99.0
4月末	39,318	△2.3	67,661	△0.4	99.0
5月末	35,398	△12.0	60,590	△10.8	99.0
6月末	34,878	△13.3	59,559	△12.3	98.7
7月末	37,142	△7.7	63,293	△6.8	99.1
8月末	36,300	△9.8	61,992	△8.8	98.8
9月末	32,563	△19.1	55,796	△17.9	98.3
(期 末) 2022年10月24日	32,931	△18.1	57,577	△15.3	98.1

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2003年10月27日を10,000として指数化しております。

■運用経過

◆基準価額等の推移について（2022年4月26日～2022年10月24日）



(注1) 参考指標はMSCI米国REITインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注2) 参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

◆基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の40,231円から7,300円下落し、期末には32,931円となりました。

上昇要因

VICIプロパティーズやMGMグロス・プロパティーズなどが保有期間中に上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。また、米ドルが対円で上昇したことも基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国リート市場（米ドルベース）が下落したことや、プロロジスやエクイニクスなどが保有期間中に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

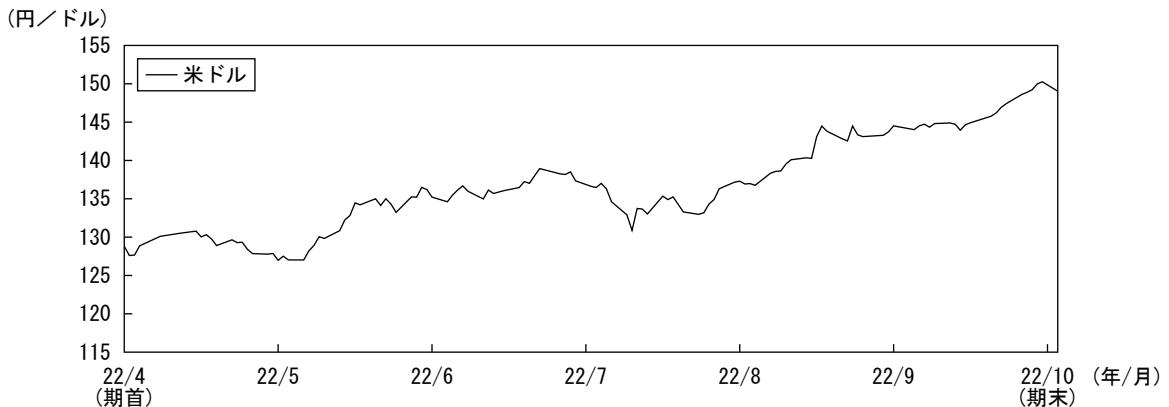
◆投資環境について

＜米国リート市場＞

米国リート市場は下落しました。期の前半は、インフレおよび金融政策の動向に市場の関心が集まる中、依然として過熱感がみられる物価関連指標や雇用統計を受けてFRB（米連邦準備制度理事会）はタカ派的な姿勢を強め、リート市場は売りが先行する展開となりました。期後半にかけては、景気減速を示唆するマクロ経済指標を受けて長期金利が低下したことや、想定より堅調な企業の四半期決算を背景に一時上昇する局面もありましたが、その後はFRBによるさらなる金融引き締め決定を織り込む形で金利が上昇し、米国リート市場は前期末から下落した水準で期を終えました。

＜外国為替市場＞

外国為替市場では米ドルに対して円安が進みました。



出所：一般社団法人投資信託協会

◆ポートフォリオについて

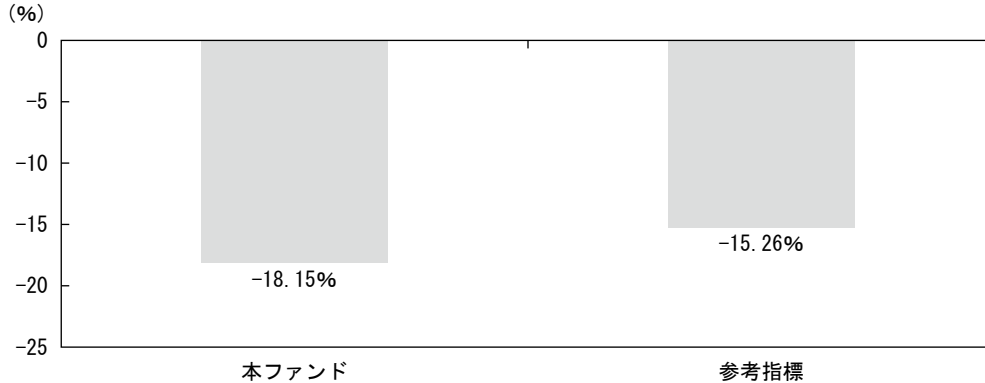
当期中の主なポジションとしては、社会生活の変化を追い風に構造的な成長が展望できるビジネスモデルを有するセクターをオーバーウェイトとした一方で、事業環境の激化が見込まれるセクターをアンダーウェイトとしました。

当期において、VICIプロパティーズやMGMグロス・プロパティーズが保有期間中に上昇したことなどがプラス寄与となりました。一方、プロロジスやエクイニクスが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

◆ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

＜当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）＞



当期の本ファンドのパフォーマンスは、-18.15%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-15.26%となりました。

今後の運用方針について

米国リート市場において、当社では需給や資金調達環境などを注視しています。2021年は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展に伴う経済活動再開や不動産需要の回復期待により、米国リート市場は株式市場全体と同様に力強く上昇しました。一方、2022年は年初からインフレや金融政策、サプライチェーンの混乱といった昨年から続く懸念要因に加えて、地政学リスクや景気減速懸念などの新たな不安材料が浮上するなど、不透明な市場環境が続いています。米国を筆頭に各地域の金融政策はインフレの鎮静化を優先させる方針がうかがえることから、市場は更なる景気減速を織り込む可能性があり、不動産需給の観点では新型コロナウイルスの感染拡大からの回復局面でみた幅広いセクターでの需要回復ではなく、不動産の立地やテナントのファンダメンタルズの違いによって選別色が強まる可能性があるとして、従来以上にクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。

当社では、中長期的に、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネス・モデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資します。

（上記見通しは2022年10月24日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

■本ファンドのデータ

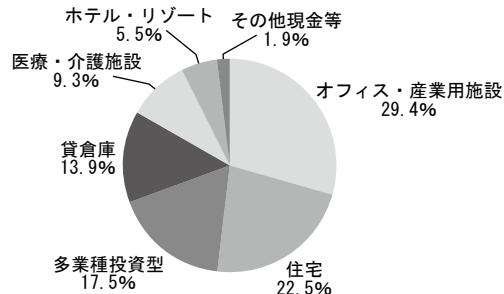
◆本ファンドの組入資産の内容（2022年10月24日現在）

○組入上位10銘柄

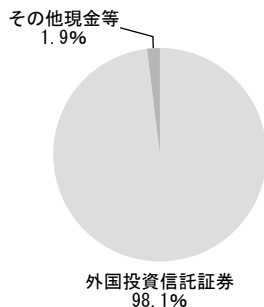
（組入銘柄数：30銘柄）

	銘柄	国	業種	比率
1	プロロジス	アメリカ	オフィス・産業用施設	9.5%
2	パブリック・ストレージ	アメリカ	貸倉庫	9.3%
3	エクイニクス	アメリカ	多業種投資型	7.7%
4	デジタル・リアルティ・トラスト	アメリカ	多業種投資型	5.4%
5	イーストグループ・プロパティーズ	アメリカ	オフィス・産業用施設	5.3%
6	テレーノ・リアルティ	アメリカ	オフィス・産業用施設	5.0%
7	アパロンベイ・コミュニティーズ	アメリカ	住宅	5.0%
8	ウェルタワー	アメリカ	医療・介護施設	4.5%
9	インビテーション・ホームズ	アメリカ	住宅	4.4%
10	アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	アメリカ	オフィス・産業用施設	4.2%

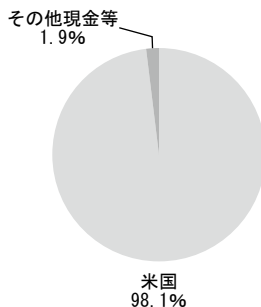
○業種別配分



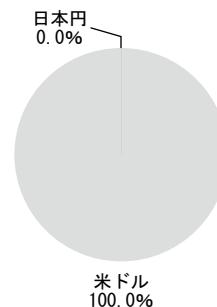
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年4月26日～2022年10月24日		
	金額	比率	
売買取手手数料 (投資信託証券)	9円 (9)	0.026% (0.026)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買取手手数料＝期中の売買取手手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	9	0.028	

期中の平均基準価額は35,933円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2022年4月26日から2022年10月24日まで)

投資信託証券

		買		付		売		付	
		口	数	金	額	口	数	金	額
外国	アメリカ		百口		千米ドル		百口		千米ドル
		27,179		131,160		46,900		184,705	
		(10,633)		(59,678)		(12,598)		(59,678)	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は分割、合併、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■主要な売買銘柄（2022年4月26日から2022年10月24日まで）
投資信託証券

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	柄	口数	金額	銘柄	柄	口数	金額
		千口	千円			千口	千円
WELLTOWER INC		174	1,876,263	PROLOGIS INC		261	4,123,764
EASTGROUP PROPERTIES INC		73	1,629,367	HOST HOTELS & RESORTS INC		1,006	2,266,418
TERRENO REALTY CORP		200	1,616,071	HEALTHPEAK PROPERTIES INC		568	1,885,081
VENTAS INC		214	1,449,314	DUKE REALTY CORP		273	1,784,462
CUBESMART		264	1,442,753	VICI PROPERTIES INC		308	1,345,898
KILROY REALTY CORP		162	1,202,776	CUBESMART		206	1,185,657
HEALTHCARE REALTY TRUST INC		301	1,168,451	CAMDEN PROPERTY TRUST		62	1,174,029
EXTRA SPACE STORAGE INC		45	1,111,686	BOSTON PROPERTIES INC		75	1,028,215
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT		58	1,085,977	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT		41	905,898
PARK HOTELS & RESORTS INC		534	1,035,454	RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES		78	874,005

(注) 金額は受渡し代金。

■利害関係人との取引状況等（2022年4月26日から2022年10月24日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2022年10月24日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当期			比率
	口数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
不動産ファンド	百口	千米ドル	千円	%
(アメリカ…ニューヨーク市場)				
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	1,598	21,107	3,145,616	4.2
AMERICAN TOWER CORP	456	8,561	1,275,927	1.7
AMERICOLD REALTY TRUST INC	2,806	6,241	930,200	1.2
AVALONBAY COMMUNITIES INC	1,423	24,894	3,710,085	5.0
BOSTON PROPERTIES INC	434	3,150	469,484	0.6
CAMDEN PROPERTY TRUST	440	5,014	747,373	1.0
COUSINS PROPERTIES INC	3,308	7,541	1,123,856	1.5
CUBESMART	4,039	15,437	2,300,670	3.1
DIGITAL REALTY TRUST INC	2,802	27,140	4,044,728	5.4
EASTGROUP PROPERTIES INC	1,853	26,586	3,962,175	5.3
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	3,447	20,121	2,998,730	4.0
EQUITY RESIDENTIAL	3,198	20,537	3,060,732	4.1
ESSEX PROPERTY TRUST INC	770	17,540	2,614,083	3.5
EXTRA SPACE STORAGE INC	452	7,510	1,119,317	1.5
HEALTHCARE REALTY TRUST INC	4,028	7,622	1,135,988	1.5
HUDSON PACIFIC PROPERTIES IN	1,269	1,307	194,794	0.3
INVITATION HOMES INC	6,732	22,283	3,320,941	4.4
KILROY REALTY CORP	2,072	8,502	1,267,072	1.7
PARK HOTELS & RESORTS INC	5,080	6,401	954,085	1.3
PROLOGIS INC	4,639	47,827	7,127,712	9.5
PUBLIC STORAGE	1,591	46,579	6,941,777	9.3
RLJ LODGING TRUST	6,802	7,959	1,186,144	1.6
RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES	1,537	13,046	1,944,262	2.6
SUN COMMUNITIES INC	184	2,200	327,933	0.4
TERRENO REALTY CORP	4,816	25,287	3,768,567	5.0
VENTAS INC	4,416	16,399	2,444,001	3.3
VICI PROPERTIES INC	1,680	5,048	752,421	1.0
WELLTOWER INC	3,936	22,783	3,395,369	4.5
(アメリカ…米国店頭市場)				
EQUINIX INC	724	38,710	5,769,088	7.7
SBA COMMUNICATIONS CORP	341	8,486	1,264,773	1.7
合計	76,887	491,833	73,297,919	<98.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する比率。

■投資信託財産の構成

2022年10月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 73,297,919	% 95.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,291,428	4.3
投 資 信 託 財 産 総 額	76,589,347	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(74,741,260千円)の投資信託財産総額(76,589,347千円)に対する比率は97.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=149.03円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2022年10月24日
(A) 資 産	76,589,347,022円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	846,754,469
投 資 証 券(評価額)	73,297,919,040
未 収 入 金	2,435,673,445
未 収 配 当 金	9,000,068
(B) 負 債	1,847,972,094
未 払 金	1,847,972,094
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	74,741,374,928
元 本	22,696,155,949
次 期 繰 越 損 益 金	52,045,218,979
(D) 受 益 権 総 口 数	22,696,155,949口
1万口当たり基準価額(C/D)	32,931円

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2022年4月26日 至 2022年10月24日
(A) 配 当 等 収 益	1,461,445,993円
受 取 配 当 金	1,461,445,993
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△19,244,905,803
売 買 益	15,324,091,701
売 買 損	△34,568,997,504
(C) 信 託 報 酬 等	△ 878,466
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△17,784,338,276
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	75,918,727,912
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	72,809,450
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 6,161,980,107
(H) 計 (D+E+F+G)	52,045,218,979
次 期 繰 越 損 益 金(H)	52,045,218,979

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は25,113,145,910円、当作成期間中において、追加設定元本額は27,663,292円、同解約元本額は2,444,653,253円です。

(注5) 元本の内訳

ゴールドマン・サックス	米国REITファンドBコース (毎月分配型、為替ヘッジなし)	20,247,851,653円
ゴールドマン・サックス	米国REITファンドAコース (毎月分配型、為替ヘッジあり)	2,164,406,239円
ゴールドマン・サックス	米国REITファンドDコース (年1回決算型、為替ヘッジなし)	239,189,773円
ゴールドマン・サックス	米国REITファンドCコース (年1回決算型、為替ヘッジあり)	44,708,284円